

ボーリング柱状図

調査名 _____

ボーリングNO.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 _____

シートNO.

ボーリング名	NO.2-3(左岸)		調査位置			北緯	36° 32' 35.0000"			
発注機関	栃木県鹿沼土木事務所				調査期間	2007-12-26 ~ 2008-03-21		東経	139° 41' 30.0000"	
調査業者名				主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者			
孔口標高	167.37 m	角度		方向		地盤勾配		使用機種	試錐機	ハンマー 落下用具
総掘進長	7.10 m							エンジン		ポンプ

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m)	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深度 (m)	試験名および結果				
167.07	0.30	0.30		礫混りシルト (M-G) 礫混り粘性土 (C-G)	暗褐色		軟らかい	軟質な礫混りシルト主体。 含水比は中位から高位。 粘着性は中位。 礫径2から25mmの角礫混じる。 2.40mより礫の混入がやや多い。		1.15	1 19	1 13	2 32	2					
164.67	2.40	2.70		風化頁岩 (Sh)	暗褐色			岩片状・礫状コア主体。 色調一定せず、亀裂非常に多い		2.15	1 12	1 11	1 8	3 31	3				
163.02	1.65	4.35		頁岩 (Sh)	暗褐色			コア長30から100mmの短柱状、柱状コア主体。 岩は褐色に変質し、やや脆い。 黒色の新鮮岩、部分的に挟む。 亀裂やや多く、所々岩片状コアとなる。 4.85から5.00m礫状コア。 5.55から5.60mの間、粘土化する	02/05 4.39	2.46	17	12	9	38 30	38				
160.27	2.75	7.10								4.37	16	25	9 2	50 22	>50				
										5.15	17	33 7	50 17	>50					
										5.32	38	12 3	50 13	>50					
										6.00			50 10	>50					
										6.13									
										7.00	50								
										7.10									